第三百八十六號　（日曜木）　昭和二十年八月七日　いわき民報　（一）　（第三種郵便物認可）

いわき民報

社報　いわき民報
發行所
平市田町八四番地電一七六番
發行人兼編輯人　印刷人　已克輝千
定價一部一円十月ヶ一十五銭
（但月曜を除く）

平の商都に復興の街燈と夜店の復活を

市常務委員會第四部會で決定

市常務第四部委員會は五日午後二時半から公會堂に本間に招集、明るい商都平市の再建復興について種々な角度から討議したが、結局街燈の強化により街を明るくするとゝもに商店街の夜店復活の實現を期し大いに市民にサービスすることに決定、平商工會議所とタイアップして強力に商店街に呼びかけることになつたが終戰後鬼角沈滯氣分にある折柄各方面から大いに期待されている、なお盛盆をまへに平驛前の夜店もお目見得することになつている

光榮の黒川澤田氏

十八日翁島で陛下に業務概況奏上

天皇陛下には來る十八日、翁島御假泊に際し、農業教育、農業經營、水産業並に山林經營の四功勞者を召させられ、それぞれの現況について聽し召されることになつたが、この中水産、山林兩方面についての奏上者は左の如くいづれも郡下から選ばれる光榮に浴した

▲水産業の概況について縣水産業會副會長、江名町漁業會長黒川喜一郎氏（五四）

▲山林經營の實体について田人森林組合專務理事、植田地區林産組合專務理事、縣農地委員澤田源次（五一）

◇代議員鈴木敬次郎（平）小野義雄（小名濱）金成信明（植田）丹野政雄（小名濱）石井善一郎（四時川）

經濟狀況調査に

縣會經濟委員一行十、十一の兩日に縣會經濟委員一行十名は九日來郡、四倉町に一泊して十、十一の兩日郡内の經濟狀況を調査、十二日歸縣する豫定

平電産の代議員會

きよう本社樓上で電産中分會の代議員會は六日午前十時から本社ホールに開催、能力給決定と職場大會決定事項處理等その他團體協約について協議、支部代表代議

石城統計委員會

九日に準備委員會統計事務の發展を期するため郡下の市町村統計主任が一丸となつて石城統計協會（假稱）を結成することになり九日午前十時から地方事務所會議室にこれが準備委員會を開く九月早々結成式を擧げる豫定

磐城洋灰増産運動

四倉町磐城セメント工場では八月から十二月末まで展開の石炭石粉末増産運動に呼應目標七百五十ヶ目指してなにがなんでも達成と大車輪である

水産課分室は九月一日に店開き

事務所は田町馬目酒店跡

水産發達と事務の簡素化を期するため磐城七濱の中心地に既報の如く水産事務所を設置することに決定、三日午前十時から縣水産製造業會擬上に高本水産課長も出席して委員會を招集、種々協議した結果豫算五十万円でとりあへず市内に事務所を開設、九月一日から事務を開始することに決つた、なお廳舍は田町馬目酒店跡を交渉中で職員は縣から部長級一名と十名くらい採用の豫定で豫算五十万円は江名、小名濱兩町から二十万円宛、その他から十万円計五十万円の寄附をつのることになつた

同事務所には縣水産課の知事の專決事項に關する特別漁業、定置漁業の免許關係などを除くほとんどが移管されることになつたわけだがいづれにせよ磐城七濱の人には日歸りで用務を果し得ると今後に大きな期待をかけ大歡びである

磐女惜しくも覇權逸す

縣下女子中等校籠球大會

縣下女子中等校籠球大會は四日福島高女コートで開催した市郡各高女の戰績は左の通りで磐女軍は傳統のロングシュートの威力によく福島に迫り白熱的熱戰を演じたが惜敗、長蛇を逸した

◇一回戰
會女16―4小名濱女
安女9―4平女
棚女9―3湯本女
磐女9―6富女

◇準々決勝
磐女9―2福二女

◇準決勝戰
磐女9―3湯本女

湯本女は敗者戰（一回戰に敗れしもの同志の試合）で優勝準決勝に出場權を獲得

◇決勝戰
福女5―3磐女

いわき寸言

◇全遞か半ドン强行、これこそ民主のはき違いであり民衆を忘れたもの

◇今度味噌、醬油、野菜も値上げ、大衆のロいよいよ干上る

◇生活安定の文字は過去の文字と化す、あゝやんぬるかな

◇土方殺すには物はいらぬ雨の十日も降ればという昔はそんな文句もあつたつけ

◇いまは大衆殺すに何にもいらぬ、値上げ値上げで干殺しか

カルカンダ殘留者在健

市郡關係

去る二十六日舞鶴に上陸した森豐（二本松）翁地今朝吉（川俣町）兩氏によりソ連カルカンダ收容所に殘留する滿洲三三〇二部隊建築勤務三四中隊健在者氏名が縣にもたらされたが、右に依る市郡關係者は左の通り

◇平市　金田五郎
◇石城　渥美丹三郎（田人）宇佐美隆榮（草野）折笠政一（入遠野）永山吉治（草野）北村金吾（大野）鈴木五郎（磐崎）入遠野　宮木庄太郎（磐崎）西山忠敏（大野）根本參光（田人）綠川辰春（同）山口齊藏（上小川）薬谷半治郎（高久）

遞相や局長にも陳情

湯本局の二等局昇格問題

湯本局郵便局の二等局昇格運動は關内代議士等の斡旋で議會で採擇ときまつたのでこの機を逸せず一氣に目的を達成しようと湯本町の應援のもとに左の如き骨子の陳情書を仙台遞信局並に遞信大臣宛に提出した

一、現郵便局長が辭任したため現在の請負制度下の特定郵便局長に成る人がない

二、特定局ある爲切手、印紙の賣切れ電話工事の遲遲現金支拂郵便配達の回數等町民に受ける不便が大きい

三、現在營遞局になつてゐる近隣、小名濱局、中村局と對照しても湯本局は劣つてゐない

四、常磐炭礦品川白煉瓦工場の所在地並に溫泉地帶で戸數五千人口二万五千を算する將來有望甚々發展代表比佐源造、全遞信從業員組合石城支部湯本班深瀬良治

（賣販物本）通信會社　番一一
希望・注文　法令・六一二
寸法御急至　住宅・二〇二
り　曇フ乞　地土　平五
ガラス　眞砂屋金物店　電七九四番
付枠　◎透明　理店業町五
代請田町一
市田町一
平
賣店販
三木
商士

お盆用の清酒特配

十二、三の兩日にお盆用特配は十二十三の兩日成年男子一人三合女世帶（成年男子の居無い世帶）は一戸當り三合配給になる、御値段は二六円七〇錢配給所は從前通り

平市仲田町（電六一五）
内科　二井醫院
小兒科　二井五郎

みそ、醤油、野菜値上げ
きようから即時實施に決定さる

物價廳では五日野菜とみそ、しようゆの値上げを發表、六日から實施した

△野菜、さきに決定した麥じやが芋の價格とにらみ合わせ野菜全体の農家庭先渡しの平均價格を計算し、これに運賃などの諸經費を加算して平均卸賣價格を算出したのち、さらにこれを基礎として各品目別、地域別月別の卸賣價格と小賣價格を算出したもので品目別の價格を決めるに當つては從來の不均衡を是正し特にたまねぎなど肥料によつて收穫量がはなはだしく左右されるものについては最近の肥料事情を考慮しやゝ割當とした、なお改訂價格と現行價格と比べると東京などの大消費地では大体三割程度の値上りとなり、基準年次（昭和九―十一年）に比べると約四十倍になつている、なお縣下の値段は一兩日中決る豫定

△みそ、しよう油從來の濃厚しよう油と普通しよう油の二本建の價格を改めて普通しよう油一本建とし濃厚しよう油を廢止した、したがつて今後は濃厚しよう油の配給を受けていた地區、たとへば東京都では一人一ケ月の濃厚しよう油一合五勺の配給量が普通しよう油二合七勺の配給量に増加する、新しよう油（代用しよう油）アミノ酸液などのしよう油代用液もすべてこの價格を還用する（なお次の價格はいずれも中味賣の價格で生産者と地方統制機關が容器貸で販賣する場合は生産者販賣價格または地方統制機關販賣價格に容器損料と荷造費としてみそ一貫匁につき一円六十一錢、しよう油一升につき一円廿錢をそれぞれ加算する、今度の價格を舊價格に比べると消費者價格でみそは一、七八倍しよう油二、〇六倍、基準年次に比べるとそれぞれ四十三倍、四十九倍になつている（單位円）

區分	單位	改訂價格	現行價格
一、みそ			
生産者價格	一〇貫	二三六、〇〇	一四五、〇〇
地方統制機關販賣價格	同	二六五、〇〇	一五四、五〇
小賣業者販賣價格	一〇〇匁	三、二〇	一、八〇
二、しよう油			
生産者價格	一斗	一四四、〇〇	七六、〇〇
地方統制機關販賣價格	同	一七〇、〇〇	八四、〇〇
小賣業者販賣價格	一合	二、〇八	一、〇二

なお、ながいも、やまいも、しようが、わけぎ、みつば、いとみつば、まつたけ、ずいかまくわうり、くわいは統制價格のワクからはずされ自由價格となつた

野菜出廻り 依然難し
公定三割値上げでは

野菜の値上げについては公定の三割引上げか、暫定價格の三割値上げか早くも疑問を生み消費者の頭を惱ませている

公定の三割引上げだとナス一貫匁の消費者價格は十五円六十錢、暫定價格だとすると何んと百四円にもなりちよつと一般には手も出ないわけとなるが、公定の三割引上げだとすると野菜のお目見得はむづかしく、當局の對策に各方面注視の的となつている

殊勳のパール號
見事飯ドロ犯人を追跡捕う

五日午前五時半頃市内田町森本盛一さん（五六）方で朝御飯をたいておいたところ些つとの間に釜ごと何者かに盗まれ家中大さわぎとなつた、これを知つた隣家の大河原茂中さん（四九）の息子さん茂勝君（一四）が愛犬パール號を連れて早速犯人捜査に乘出したところ一時間余で丸通裏でパール號は見事犯人を發見した、然し捕へた犯人は四倉の某少女（一四）で、さて捕へてみたものゝ境遇に同情した森本さんは怨みを忘れて御飯から歸る切符まで買與へ懇々説諭の上歸町させたが、この温い情とパール號の殊勳は街の話題となつている、なおパール號は同町山形屋白士壽伯氏の愛犬ボインターの子で、大河原氏のもとにあづけられているものである

小名濱町の麥イモ供出

小名濱町の大小麥及びジヤガイモの供出割當は大麥は前年より九百七十一俵減の千二十九俵、小麥は百十九俵減の五十三俵、ジヤガイモは二十七俵増の千八十一俵と決定したが、既に大麥は六百六十五俵小麥十五俵、ジヤガイモ七百四俵の供出をみており、この狀態では十五日ごろまでには完遂し得るものとみられている

市の救援米 頗る順調
十五日には完遂か

市の救援米供出運動は順調で六日現在で四十俵に達した、殘る百五十余俵の目標量は十五日頃までには完遂の見込み

聽くもうれしい 警官美談
宗像巡査の篤行

警察官の民主化未しとの叫びをきゝ、人情紙より薄しとかたれる昨今、きくも嬉しい人情警察官の美談が傳へられ市民を感激させている―話の主人公は平驛前交番の宗像忠需巡査ことは去月二十三日の夕五時頃一老人が救を求めて泣き込んだ、話をきくとこの老人は茨城縣久慈郡久慈町本町袴塚鍵助さん（七四）で五年前に妻を失ひ相次いで二人の息子に戰死され病弱の身に孫娘と淋しく余生を送つていたが七月初めに樺太から引揚げて來た知人に北海道某病院で戰死したはずの息子に會つて來たと聞かされ矢もたてもたまらずめいに遺言までして死の決心で旅立つて來たもの老軀の長旅はこれ以上續かず乘客にすゝめられ平に下車したもの、不案内の土地とて宿さへ求められず困つて泣き込んだものと判つて同情した巡査は直に白銀町やよひ館に事情を話し少ない配給から食糧まで與へて一泊させ諭した上翌日驛まで送つて歸郷させたというもの

勞働基準法
二十日に講習會

近く施行される勞働基準法の普及徹底をはかるため福島、商工會議所、福島勞組會議では福島勞働基準局後援のもとに二十日平市第三小學校講堂に勞働基準法普及研究會をひらく講師は增子福島勞働基準局長ほか二名で郡下勞組員はもちろん一般の參加ものぞんでいる

北好間で素人演藝大會開催

＝好間村北好間地方部素人演藝大會は好間青年親睦會その他青年演藝人の肝煎りと小田、平、上好間各炭鑛勞組演藝部の支援のもとに五日午後六時半から同村好樂館で開催、盛況を極めた

湯本の供出 極めて順調

湯本町の早期供出大小麥、ジヤガイモの五日現在の供出狀況は左の通りで十日までに完了の見込み

◇湯本町大麥 六六俵（六十八%）小麥六五俵（一〇一%）ジヤガイモ五四九俵（八五%）

胎兒遺棄 ＝勿來町大日本炭鑛長屋便所に五ケ月の胎兒が遺棄してあるのを四日發見、同町赤坂日雇業藤井初枝（二三）が針醫の手術を受けて產み落したものと判つた

錦町の覆面 二人組强盗

錦町鳥井齒科技工粟谷龍一さん（四〇）に四日夜半二人組の覆面强盗が押入り出ばを突きつけたが來客と燒ちうをしたゝかのみ泥醉した龍一さんが『うるさい』とどなり返したもの丶醉しれているので悠々と物色、現金千八百円衣類二十點を奪い台所にあつた殘飯を食い始めたが、もの音に驚いた內妻高瀨はなさん（三三）が戶外に飛び出したのであわてゝ逃走した

暑中御伺
平 石城 連合寫眞師組合

盂蘭盆も近ずきました
御先祖の尊いお姿を
肖像畫におすゝめ致します
服裝の自由永久絶對不變色
菊水肖像畫院 平市五丁目電九八九番